

新飯能

発行
日本共産党
飯能市委員会
973-1091

金子とし江
972-6401子
山田とし子
973-4710み
新井たくみ
978-0175む
滝沢おさむ
972-3875

<議員団の連絡先>
973-2111(市役所416)
Mail jcp-sigi@pluto.plala.or.jp

防犯の街づくり条例とは

広がる監視社会に疑問

九月一日号の広報「はんのう」に、防犯のまちづくり推進条例(案)についての意見募集が掲載されました。募集期間は九月一日から十月十三日まで、公開場所は各公民館、ホームページなどなっていました。

条例の目的は、「近年、街頭犯罪や不審者などの増加している。安心、安全なまちづくりのために、市民、事業者などが一体となって、取り組むことが求められている。そこで市は、プロジェクトチームを設置し、各種団体の皆さんのご意見もふまえて「条例(案)」を策定したので公開し、市民のご意見を募集します」となっています。

関係者の話によると、「各種団体の皆さんのご意見をふまえて条例を策定したかのような表現になっているが、七月に行われた意見交換会には、七団体の招集に対し調整がつかず、四団体しか出席していなかった」といいます。

全国的にこうした「生活安全条例」策定の動き

全国的にこうした「生活安全条例」策定の動きが広がりに一五〇〇の自治体で条例化されていると言われますが、様々な法的な問題も指摘されています。

この条例の特徴は、自治体、住民、民間業者が、警察等と協力しながら「防犯」に努める義務を負い、それぞれの責務が規定されています。自治体や住民に警察と同じような防犯の責務があるの



でしようか。担当課はいつの議会に提案するか明確にしていませんが、「安全」「安心」の名のもとに警察、住民同士の監視体制が強まるのではないかと、法の乱用につながるのではないかと、しつかりとした論議が求められます。

給食調理員

大規模校に複数配置を

飯能市は、行革の中で「給食の在り方の検討」を市内の検討委員会で議論し、今年度中に結論を出すことにしています。

検討委員会では、「委託ありきではない」として、再考に退職者が多くなることから、適正な職員



秋の穏やかな日差しのもと、「精明地区まちづくりの会」が育てたコスモスが満開を迎えています。親子づれやカメラマンが訪れ、白やピンクの花を楽しんでいました。

記事の訂正について

新飯能一〇月八日号・電動ベッド利用に関する記事の訂正とお詫び

この記事を記載するにあたって、担当課での聞き取りを行った記事にしました。が、双方のやりとりの中で行き違いがあり、結果的に事実と異なる内容になってしまいました。その内容を訂正します。

市担当課では、制度上、保険給付では、市独自の判断の及ばないものとなっており、このような判断での継続利用はあり得ないという事です。あくまでも国の判定基準(起きあがり、寝返りができない人)にそって個々に判断するもので、「保険給付の対象として市独自の判断はない」ということで訂正させていただきます。

大変ご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。

波 紋

「おいしいジャムありがとう、孫といっしょにご馳走になりました」。小さなことかもしれないが、メールのそんな一言で一日が楽しくなるから不思議です。人間、言葉によって励まされることも、逆に傷つくこともあるのだと思います。悲惨な中学生の自殺も、そこまで追い込んでしまったのは教師やまわりの子どもたちのひどい「言葉」だったのではないのでしょうか。その言葉がどれだけの痛みを与えているかは、当事者にはわからないでしょう。むしろそこに快感を感じている場合もあるでしょう。北朝鮮の核実験に便乗した自民党の中川昭一政調会長の日本の核武装発言は、被爆者や平和を願う人々に大きな衝撃をあたらえました。北が悪いんだから何を言っても許されるとばかりに非核の心をずたずたにしたのです。絶対許してはならない発言です。幼稚な発言だと済ませずにはいきません。安倍政権が改憲を公約し、核武装まで視野に入れている極めて危険な政権であることを忘れるわけにはいきません。

市立病院

病院としても努力したい

入院廃止問題で病院長と懇談

「懇談会」に 申し入れ

「保健と福祉の将来を考
える懇談会」が市立病院
の入院機能を廃止すると
いう方向で報告案をまと
め、一〇月一日付広報で
市民の意見を求めていま
す。これらの意見も参考
に、十一月六日に最終報
告をまとめる事にしてい
ます。

日本共産党飯能市議団
はこの最終報告を前に、

1、参考にしてしている資料
が入院を抑制している医
師欠員時期のもので民間
病院との比較検討する資
料としては適当ではない
こと。地方交付税措置が
考慮されていないこと。
2、市民、地域住民に十
分な説明を行わずに、ま
た意向も聞かずに「市立
病院の入院廃止」という
重大事項について、拙速
な結論を出さないことな
ど四項目の申し入れを行
いました。

十八日には、市立病院

合原進二院長に
あつて、八月に
実施したアンケ
ーに寄せられた
意見、要望をま
とめ、懇談しま
した。

合原院長は、
「要望書の内容
は私の思いと近
いものが多い。
病院としても、
今までと同じよ
うに入院が残せ

るよう努力したい。改善
できるものは改善してい
きたい」と述べました。
議員団は、「病院問題
を市民も一緒に考え、良
くするチャンスにできる
よう精一杯努力していき
たい」と決意を延べまし
た。



後援会ハイキング のお知らせ

11月23日(木)

東飯能駅集合9時

白銀平(日高・高麗)

参加費 五〇〇円

中央後援会

連絡先・山田市議973-4710

11月23日(木)

西中正門前9時

吾妻峡・滝涯山

参加費 五〇〇円

西後援会

連絡先・金子市議972-6401

*持ち物・お弁当、雨具



病院長への要望骨子

- 1、「入院廃止、無床の診療所」へという結論の前に、病院、市、住民が一体となって、病院の経営改善に努力して入院が維持できるよう働きかけをお願いしたい。
- 2、医師の確保について、ご尽力をいただきたい。
- 3、会計事務に時間がかかりすぎるとい指摘が多いので、原因を明らかにし、委託会社に改善を申し入れていただきたい。
- 4、患者の送迎サービスを実施できるように働きかけていただきたい。
- 5、病院内に患者の声、要望に機敏に対応できるシステムをつくっていただきたい。として、
 - ① 仕事の帰りに診察できるよう診察時間を延長
 - ② 非常勤医師の活用で専門外来を増やすこと
 - ③ リハビリ機能を充実させることなど、15項目を求めました。

いよいよいよいよ時、日頃の備え

岩沢第一自治会が防災訓練



防災意識の高まるなか、
岩沢第一自治会は十五日、
第一回目の防災訓練を実
施しました。岩沢白髪神
社脇の会場では、十二時
から非常食の試食が行わ
れ、一時に訓練が開始さ
れました。火災による煙
の中の避難、起震車での
地震体験や消火訓練に参
加者は真剣に取り組んで
いました。起震車の体験

は、最初縦揺れが始まり
横揺れに変わりながら序々
に震度が強くなり、関東
大震災並の、震度六強の
体験ができましたが、セッ
トされているテーブルは
当然動き出し、手すりに
しっかりとつかまってい
ないと、立っていること
は無理でした。「実際に
震度六の地震では多くの
建物が倒壊してしまうの
では」の心配の声も多く
聞かれました。日頃の備
えの必要性を実感する訓
練となりました。

日本共産党飯能市議団 市議会報告会

10月25日

(水) 午後7時～
市民会館202

* 9月市議会の特徴、日本共産党のたたかいなどについて
お話しし、みなさんからのご意見、ご要望をおうかがい
します。

お話しする人

- 金子としえ 市議会議員
- 山田とし子 市議会議員
- 新井たくみ 市議会議員
- 滝沢おさむ 市議会議員

日本共産党飯能市委員会



赤旗まつり

11月3(金)、4(土)、5(日)
東京・江東区「夢の島公園」

飯能の広場は、3日(金)に開設します。

* この広場を拠点に、物産展での買い物、記念行事など
に参加しましょう。飯能後援会ののぼり旗を目印にしてく
ださい。

集合：飯能駅改札口 8時10分

出発：池袋行8時19分(小手指乗り換え、新木場行)